



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2013.3

No.347

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



見沼田んぼ東部

～探鳥会の空白地帯～

小林みどり(さいたま市)

見沼田んぼと呼ばれる地域は、長短二つに枝別れた鹿のツノのような形をしています。西側が芝川と見沼代用水西縁が流れる長いツノ、東側が加田屋川と代用水東縁が流れる短いツノです。2011年1月、私が移り住んださいたま市見沼区蓮沼の新居は、この二つのツノに挟まれた地域にあります。

玄関を出て西へ約20分歩けば、市民の森や大宮第二、第三公園、大和田緑地などがある芝川の岸辺。東へ約30分歩けば加田屋川。その日の気分で東へ西へ、鳥を中心とした気ままな自然観察を楽しんでいます。

ところで私が歩き回っている加田屋川流域では、今のところ探鳥会が行われていません。この辺りで最も近い探鳥会開催地は見沼自然公園ですが、この会でも山下橋より上流には行きません。そこで、ここでは探鳥会もなく支部報でも紹介されたこともない(*)“空白地帯”見沼田んぼ東部についてお話します。(※:大宮第二、第三公園については、探鳥会が行われていませんが、浅見徹氏が『しらこぼと』2007年5月号に執筆されています。)

探鳥地① 加田屋川と周辺の農耕地

この冬季の常連はサギ類とカモ類です。カモはコガモ、カルガモが多く、時々、見沼自然公園の池から来たらしいオカヨシガモ、マガモが入ります。この公園の池にたくさんいるオナガガモ、ヒドリガモは、なぜか川には来ません。農耕地ではタヒバリ、ジョウビタキ、ツグミ等の冬鳥が見られます。時々、100羽以上のミヤマガラスの群れが現れます。その中には少数のコクマルガラス(暗色型)も!ここでは「な〜んだ、カラスか」と無視することは出来ません。タカ類(ハイタカ属が多い)もよく飛びます。

3月中旬、川にコチドリが渡ってきます。その声は護岸の鋼板に反響し、周囲に満ちあふれます。多い時は10羽ほど集まりますが、長居はせずに旅立ちます。そして、あちこち

でヒバリ、ホオジロがさえずり、キジが鳴き合い、ツバメが飛び交い、冬とは違った賑わいの季節が訪れます。

やがて、いずれも同じ夏の鳥枯れ。農耕地からも川からも鳥影は消えます。この間は蝶やトンボに遊んでもらっています。8月末から9月初め、農耕地に少数のチュウサギが姿を現し、川にはアオサギやダイサギが相次いで戻ってきます。サギ類は、この地での秋の使者のようです。

秋の使者と言えば、ノビタキ。いかにも彼らの好きそうな環境なのに、探し方が悪いのか相性が悪いのか、ここではまだ姿を見えません。ノビタキを探しまわっているうちに、川にカモが集まり始め、やがて農耕地にジョウビタキが来てツグミが来て…賑やかな冬鳥シーズンが再び巡ってきます。

探鳥地② 染谷地区

落葉広葉樹が多い雑木林、大きな常緑樹が茂る屋敷林、点在する小さな畑。緑と住宅地が混然とした地区で、一部は県により『染谷ふるさと緑の景観地』に指定されています。

この魅力は、なんと言っても春・秋の旅鳥探し。春は、さいたま市宮霊園「思い出の里」南側の遊歩道やあちこちの雑木林沿いを歩いていると、センダイムシクイ、キビタキなどの美声が聞こえてきます。秋はさえずらないので、姿が現れるのをひたすら待ちます。ポイントはシジュウカラやメジロなどの混群。その中にセンダイムシクイ、コサメビタキ、キビタキなどの旅鳥が入っていることが多いのです。“地元民”が一緒にいれば、何かと

心強いのでしょうかね。

冬季、「思い出の里」沿いの遊歩道を歩く時は要注意。静かに行動すれば、道沿いの草地に降りているホオジロやカシラダカをじっくり観察できます。林の中からアオジやシロハラ、ルリビタキが、目の前にひよいと現れることもあります。

その他の探鳥地

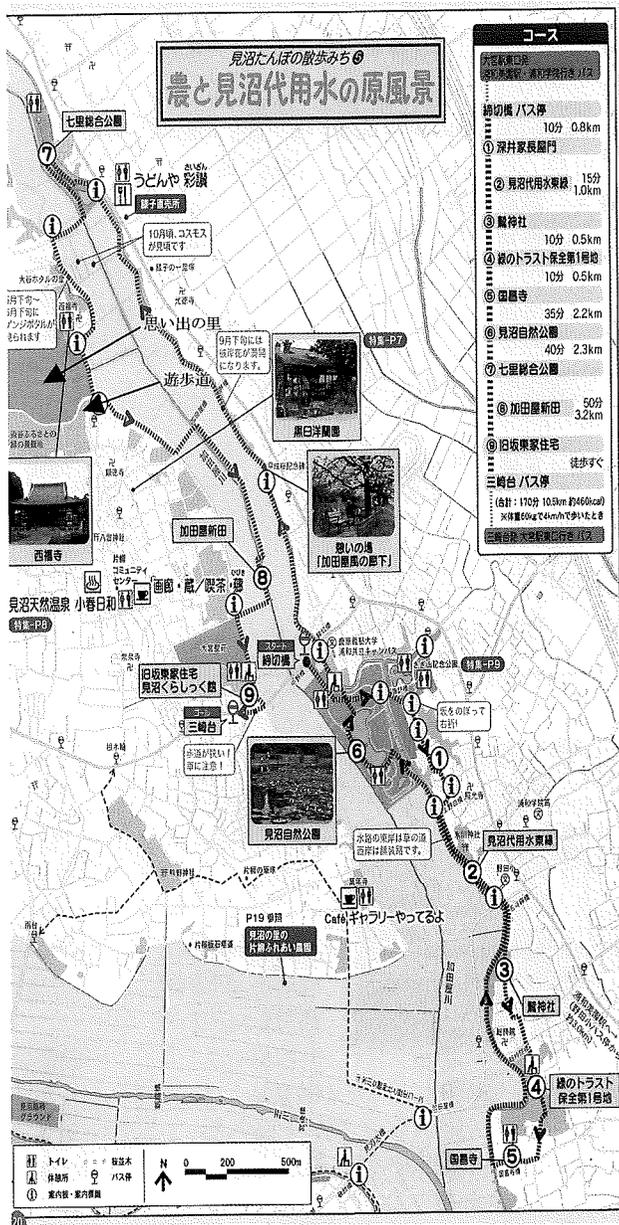
大谷ホテルの里では、カワセミに会えます。春には、周囲の雑木林からオオルリなどのさえずりが聞こえてきます。その名が示すようにホテルも見られますが、私はまだ見ていません。

七里総合公園の見どころは、入口付近のアシに囲まれた池。コガモ、カルガモと共に、ヨシガモがいることがあります。公園最奥にある小さなアシ原でアリスイに出会ったこともあります。

トイレは「思い出の里」、見沼記念公園、七里総合公園にあります。

おまけの情報① 「思い出の里」正門を入るとすぐ、近所で採れた新鮮な野菜が安く買える直売所があります（無休、午前9時～）。午後になると、あまり残っていません。出かける前に買っておくのがお勧めですが、荷物になりますね。買った野菜はお店で預かってくれることがありますので、相談してみてください。

おまけの情報② さいたま市では見沼田んぼの各地に、テーマの異なる6本のウォーキングコースを設定して、『見沼田んぼの散歩みちガイド』という小冊子（各区役所などで無



料配布。さいたま市のホームページでも見られます)にまとめています。ここで紹介した地域は、この中の「⑥農と見沼代用水の原風景」コース(上図参照。この地図の使用についてはSaitama City 都市計画部みどり推進課の許可を得ています。矢印は編集部で記入)に含まれています。脚に自信のある方は一度、コース全体(約10km)を歩いてみてください。

2012 年秋 埼玉県タカの渡り調査

日本野鳥の会埼玉研究部

本調査は表1の通り実施され、表2の結果を得ました。当日は台風接近中のため、渡りがごく少数に限られたようです。多くの方々のご協力に感謝申し上げます。(小荷田行男)

表1 調査状況

調査地	標高	調査者	調査日時	天候
天覧山 (飯能市)	195m	佐久間博文 ほか 17 名	9月30日(日) 7:00~13:10	曇のち晴れ のち曇
中間平 (寄居町)	320m	千島康幸 ほか 13 名	9月30日(日) 8:00~14:00	曇のち晴れ

表2 タカの渡り種別観察数

調査地	サシバ	オオタカ	ツミ	ノスリ	トビ	ハヤブサ	チゴハヤブサ
天覧山	6	(1)	(1)	(4)	(4)	(1)	1
中間平	(3)	-	(1)	(2)	(1)	-	-

注：()内の数字は、調査者が渡りでないと判断した個体数。

黒浜沼にも雁が...

田中幸男(蓮田市)



今年の鳥見はじめは、1月3日のマイ・フィールドの黒浜沼周辺と元荒川河畔でした。この日は沼のほとり

にある弁天社に参拝し、今年の無事と、たくさん鳥たちとの出会いをお願いします。

この弁天社からは黒浜沼が一望できるので、初めて沼を訪れた方をよく案内するところです。ここに地元の僧が江戸時代に称えたという「黒浜八景」の古い案内板があり、その五景目に「雅楽谷(うたや)の落雁」があります。解説には「(雅楽谷は)水の入江で両岸は林が茂っていて、収穫がすむとやがて雁が群れをなしてやってくる」とあります。

雅楽谷は沼近くにある東埼玉病院付近を指し、樹木が多く、黒浜沼の水源のひとつもあり、戦後までは多くの沼も点在していたようです。

この日は晴天ながら北風の強い日で野鳥は寂しかったのですが、弁天社から黒浜沼を見ながら、晩秋に沼の上空を雁が鳴き声を交わし“竿”になり“鉤”になり飛来し、夕陽を受けまさしく“落雁”で埒(ねぐら)の水辺に下りる光景、そして早朝には大きな羽音で飛び立つ光景があったことを思い浮かべ、遠い昔のマイ・フィールドを楽しみました。

伊藤若冲の雀

山部直喜(三郷市)

北本市自然観察公園で、部分的に白化している雀が出ているという。このような白化した個体の話を聞かたびに思い出す絵がある。

伊藤若冲『秋塘群雀図』である。

画面左下の枯れ草で20羽程の雀が餌をとっている。その枯れ草に、右上の画面から今まさに降りようとする60羽程の群。よく見るとその中の1羽が完全な白化個体なのである。

250年前の作品である。当然、光学機器を使った観察ではない。自分の目でじっくり見ている。雀の群れが降りる寸前の姿、そしてその中に1羽の白化個体。観察眼に恐れ入る。



野鳥情報

蓮田市馬込 ◇11月18日、イソシギ3羽、川沿いを飛ぶ（本多己秀）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇11月24日午後12時～午後2時、テストコース跡沿いにウソの声が多い。遠くの木にウソ♂1羽♀2羽。テストコース跡奥のブッシュでアカウソ♂1羽、少しすると、見やすい枝に出てきた。喉から腹部にかけて熟した柿のように赤い。2羽のウソ♀と行動していた。芝生の広場でシジュウカラ、ヤマガラ、エナガの混群。エナガが10羽以上いた。11月25日午前8時30分～11時、昨日と同じウソの小群とアカウソの小群。アリスイ1羽、枯れヨシにとまっていた。突然、目の前を通り過ぎた猛禽、眉斑が目立つ。15m程離れた木の枝にとまる。ハイタカ♀。すぐに飛び立つ。マヒワ5羽＋、アオジ、ホオジロ、シメ、アカハラ1羽、ヒガラ1羽、ヤマガラ1羽、エナガ、ジョウビタキ、キジ♂1羽など。天気も良く、鳥も多く、気持ちのいい一日だった（藤原寛治）。◇12月25日午前11時頃、ハヤブサ1羽、カラス3羽にまわりつかれ、北の方に飛んで行った（菊川和男）。

松伏町緑の丘公園 ◇11月25日午前10時頃、アメリカコガモ♂1羽、ミコアイサ♀1羽。ヒドリガモ等に混じっていた（菊川和男）。

さいたま市見沼区蓮沼 ◇11月月27日、我が家の玄関先でジョウビタキ♂2羽が睨み合い。どちらも羽毛をふくらませ、ダルマのような体形になっている。時々「グルル…」と低い音が聞こえるが、鳴き声なのか翼を震わす音なのか不明。通行人が近づいてどちらも退散、ノーゲーム（小林みどり）。

さいたま市浦和区県立北浦和公園 ◇11月30日午後4時頃、正門入口北側にあるサルスベリの実を4～5羽のヒガラが盛んについばんでいた。背後の葉の生い茂る常緑広葉樹とサルスベリ間を何度も往来しての採食行動（石川敏男）。

蓮田市馬込 ◇11月30日、市立老人福祉センターの傍でハイタカ1羽、低く林を飛び回る。マヒワ1羽（本多己秀・久文子）。11月30日、ヤマガラ3羽、自宅庭のハナミズキの木に来る。12月15日午前11時、自宅庭の金魚の池を約1時間かけて掃除していたところ、シジュウカラの群れが次から次にやってきてロウバイやイチイの木にとまる。正確に数えたわけではないが、のべ70羽～100羽にはなったと思う。一緒にメジロが30羽位やって来て、忙しく動き回る。コゲラも1羽混じっていた。時と場所が合えば、遠くに出かけなくても鳥は向こうからやって来るものだが、こんなに大きな混群は初めて。楽しい1時間だった（本多己秀）。

さいたま市岩槻区加倉5丁目 ◇12月1日、ゴルフ練習場の南側のフェンスの下から道路に出たスズメの群れ中に色素が抜けたように全体的に色が薄く、白っぽい個体1羽。飛んだ時や遠目には、かなり白く見える（藤原寛治）。

北本市北本自然観察公園 ◇12月2日昼過ぎ、スズメの部分白化個体を1羽観察する。すでに新聞報道され、多くの人に観察されているものと思われるが、念のため報告しておきたい。この白化スズメは、頭部、嘴、左右の風切羽、尾羽、足は通常のスズメと変わらないものの、左右の肩羽と雨覆の大部分、背から上尾筒、胸から下尾筒が純白で、ひじょうによく目立つ。肩羽・雨覆の白色部の大きさは左右で異なり、また、額と頭頂には、白い糸が引っかかったような筋がわずかに見られた。虹彩は白い。新聞の記事中、「アルビノ」という用語が使われ



北本の部分白化スズメ（千島康幸）

ているが、この個体のような場合、正しくは「部分白化」というべきものである。なお、同公園もしくはその近郊で白いスズメが出るのは、2001年の4月と11月に続きこれで3例目となるが、もちろん、それぞれ白い部分が違う別個体である（榎本秀和）。

春日部市増田新田 ◇12月3日午後4時26分、どんよりした曇り空、薄暗くなり始めた頃、オオタカと思われる1羽の中型のタカが旧沼端小学校南側上空を南西から北西へほぼ一直線に通過していった。今冬は小鳥が多いせいか、ワシタカを見る機会が住宅地でも増えているように感じる（石川敏男）。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇12月5日、葉が落ちたケヤキの天辺でミヤマガラス5羽とハシボソガラス3羽が日向ぼっこ。ミヤマガラスがこの辺りで時々見られるようになった。12月16日、ナラ林の林床でシロハラとシジュウカラ4羽が採餌。メジロ2羽、シジュウカラ8羽、ヤマガラ1羽、ムクドリ3羽、スズメ5羽、ハシブトガラス1羽がナンキンハゼにきていた。12月19日、シャープな羽ばたきで近づいてきた鳥が頭上を越えて枝にとまった。ツミだった。12月25日、ヒヨドリがブロッコリーの葉を食べ始めた。12月27日、ハシボソガラスとハシブトガラス40羽士の群れが休耕畑に降りていた。中にミヤマガラスの成鳥が2羽。12月29日、ナラ林でカケス7羽が落ち葉をひっくり返していた。12月30日、亜種オオカラヒワ13羽が樹冠で休んでいた（長嶋宏之）。

北本市石戸宿 ◇12月9日午後、トビ1羽がミヤマガラス70~80羽の群れに追い回されていた（本多己秀・久文字）。

熊谷市大麻生 ◇12月9日午前9時15分ごろ、秩父鉄道大麻生駅の熊谷寄りの大きな踏切のところで、土手上の桜の枝に亜種ハチジョウツグミ1羽（榎本秀和）。◇12月9日午後1時頃、カラ類の混群の中にゴジュウカラ1羽（千島康幸）。

さいたま市見沼区大谷 ◇12月11日午前10時30分頃、タシギ4羽、イカルチドリ2羽。イカルチドリを観察していて、その奥にタシギがじっとしていることに気づいた。（菊

川和男）。

さいたま市緑区見沼自然公園 ◇12月18日、エナガ10羽十、シジュウカラ、ヒガラ、メジロ、コゲラの混群。ウソ♂1羽♀3羽、キクイタダキ2~3羽、ヤマガラ2羽、ジョウビタキなど（藤原寛治）。

蓮田市黒浜沼 N35.9874 E139.6789 ◇12月23日、右脚に金属製足環、左足にカラーリングを付けた繁殖羽のカワウがいた。カラーリングは黄色地に「6B9」の文字が読み取れた。関係機関に問い合わせたところ、「2007年3月17日 第6台場（東京都）」で標識されたものと分かった。このカワウは来春6歳になるとのこと（長嶋宏之）。

さいたま市中央区与野公園 ◇12月28日、通勤時の通り道となっているこの公園。いつも気になってはいたのですが、ついにこの日は双眼鏡持参で出勤?!すると今季、大サービスのキクイタダキ、ヒガラ、ヤマガラを確認…と満員電車の中からメール（石塚敬二郎）。

北本市北本自然観察公園 ◇1月1日、キクイタダキ、ヒガラ、シメ、エナガ、アリスイ、ベニマシコ♀、アトリ、アオジ、カシラダカ、カケス。キクイタダキは、ここでは初めて確認出来た。1月3日、ゴジュウカラ、ヒガラ、ベニマシコ♀、シメ、シロハラ、ヤマガラ、ジョウビタキ。ゴジュウカラは通うこと5~6回目にして標柱 No. 5付近で確認。ヒガラは1m位先で見られることもあった（栗原喜芳）。

さいたま市緑区芝川第一調節池 ◇1月7日、チュウヒ3羽。色彩が違い、腰がちょっと白いチュウヒは10月から。顔の白いチュウヒは12月から。オオハクチョウ3羽、そのうち幼鳥1羽、コハクチョウ4羽、その他ノスリ、ハヤブサなど（野口 修）。

表紙の写真

スズメ目アトリ科ウソ属ウソ亜種アカウソ

ウソの食事はゆっくりじっくり味わって食べるのんびり型。ヒサカキの実を本当においしそうに食べていました。

久保田忠資（狭山市）



行事案内



オオイヌノフグリ

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所におでかけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

3 月は鉄道・バスの時刻表変更があります。この案内は、執筆当時の時刻表に基づいていますので、変更があるかもしれません。ご注意ください。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：3 月 3 日（日）

集合：午前 8 時 45 分 JR 宇都宮線蓮田駅東口
バス停前。または午前 9 時、環境学習館前。

担当：玉井、田中、長嶋、吉安、菱沼(一)、
長野、青木、榎本(建)、小林(み)、内田(克)
見どころ：この時期、恋の季節に向けてより
鮮やかな装いになり、囀りの練習が始まっ
たり、気の早いものはカップルが成立した
りしています。そんな春の兆しを道端の可
憐な野の花と併せて探しましょう。

ご注意：車で来られる方は出発地点の環境学
習館ではなく、北側に新しくできた「緑の
トラスト保全第 11 号地黒浜沼駐車場」を
利用して下さい(環境学習館まで徒歩 1 分)。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3 月 3 日（日）

集合：午前 9 時 30 分、寄居駅南口駅前広場。
交通：秩父鉄道熊谷 8:52 発、または東武東上
線川越 8:19 → 小川町乗り継ぎで寄居下車。
担当：小池(一)、井上、大澤、堀口、鶴飼、
岡田

見どころ：カワセミやシギ・チドリ類、カモ
類、タカ類、シメやアトリといった冬鳥、

イカルにアオゲラなど、多様な野鳥を観察
できます。昨年は、鉢形城跡やカタクリ自
生地、エドヒガンザクラなど、寄居の歴史
と自然のミニレクチャーも好評でした。川
原を歩ける靴でお出かけください。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3 月 9 日（土）

集合：午前 8 時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越 7:23 (急行) → 坂戸で越
生線乗り換え 7:40 発。または寄居 6:43 → 小
川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR
埼京線大宮 6:56 → 川越で東武東上線乗り
換え。

担当：山口、久保田、志村、杉原、高草木、
高橋(優)、藤澤、増尾、持丸

見どころ：冬鳥や身近な留鳥、春の草花など
を楽しみましょう。3 月は過去 4 年間で 3
回中止になっていて、2010 年以来です。今
年は無事に探鳥ができますように。

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：3 月 9 日（土）

集合：午前 8 時 15 分、JR 大宮駅東口「こり
すのトトちゃん」像前。または午前 9 時 15
分、見沼自然公園駐車場。

担当：浅見、工藤、兼元、松村、赤堀、山田、
野口(修)、柴野、小林(み)、藤掛

見どころ：今回は、「第 4 回見沼たんぼクリ
ーン大作戦」に合わせての土曜日開催。鳥

を見ながらゴミ拾いという欲張りな企画です。公園周辺の農耕地や里山で、身近な野鳥を観察しながらゴミ集め。天気が良ければ猛禽も応援に飛来するかも。軍手、トンダ（お持ちの方は）をご持参ください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月10日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷9:09発、または寄居8:51発に乗車。

担当：新井(巖)、森本、倉崎、鵜飼、千島、栗原、飛田、中川、村上

見どころ：春本番も間近。多彩な顔ぶれで私たちを楽しませてくれた冬鳥たちもそろそろ帰り支度です。来季も大麻生に来てくれるようお願いに行きましょう。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：3月16日（土）午後3時～4時ころ
会場：会事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月17日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、倉林、須崎、赤堀、浅見、宇野澤、楠見、小菅、柴野、新部、増田、畠山、若林、渡辺

見どころ：待ちに待った季節。ムクドリだって綺麗に変身。空にはヒバリの声、芝川ではカモの求愛ダンス。春いっぱいの見沼たんぼで鳥達の“婚活”を観察しましょう！

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月17日（日）

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。

交通：東武伊勢崎線北越谷駅東口、①番バス乗り場から、8:57発エローラ行きで「松伏高校前」下車。



1月13日大麻生探鳥会で、シロハラ(手前)とアカハラ(奥)が並んで水を飲んでいました。

小島寛(鳩山町)

担当：田邊、橋口、佐野、植平、榎本(建)、野村(修)、吉岡、野村(弘)、森下、佐藤、進士

見どころ：冬鳥と夏鳥の交替という季節のうつろいを身近な場所で体感しようと計画した探鳥会です。しかし、昨年は夏鳥がまだ1羽も来ていませんでした。今年はいかがでしょうか。鳥だけでなく、足元の春の草花や虫たちも見ながら田園地帯を歩きます。きっと新しい発見があると思います。

長瀨町・宝登山探鳥会

期日：3月20日（水・祝）

集合：午前9時20分、秩父鉄道長瀨駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8:00発→寄居8:28発に乗車。または西武池袋線所沢7:28発「快速急行」長瀨行きで長瀨9:19着。

解散：正午ころ、宝登山山頂梅園前。

担当：井上、小池(一)、佐久間、松下、堀口、鵜飼

見どころ：早春の山野草も観察しながら山頂までゆっくり歩きましょう。梅園広場からは梅の甘い香りが漂い、奥秩父の山並みが見えることでしょう。

ご注意：寒暖の差があります。上着1枚と飲み物は忘れずに用意してください。長瀨駅近くにはコンビニはありません。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：3月23日(土)

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部 8:22→久喜 8:35→花崎 8:42。JR 宇都宮線大宮 7:58→久喜 8:23 で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、中里、栗原、内田(孝)、茂木、長谷川、竹山、相原(修)、相原(友)

見どころ：新芽がほころび始めました。これまで楽しませてくれたジョウビタキやシメ、カシラダカ、池のカモ達はまだ残っているのでしょうか。一方で、春の日差しに誘われたウグイスや番い相手を探しているカワセミに出会えるかも。陽光を受けて舞うタカに会えたら最高！

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月23日(土)

集合：午前9時25分、東武日光駅前。集合後路線バスで「総合会館前」まで移動。

交通：東武伊勢崎線春日部7:44発「快速」東武日光行き、または久喜7:37→東武動物公園で7:50発「快速」東武日光行きに乗り換え、東武日光9:20着。

解散：午後2時ごろ、神橋付近にて。

担当：玉井、田中、植平、浅見、佐野、佐藤
見どころ：大谷川と稲荷沢ではミソサザイがそろそろさえずり始めます。その可憐な姿を探しましょう。両側の木立にいる山の小鳥たちも期待しています。荘厳な杉並木や日光の山々もあわせて楽しみましょう。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月24日(日)

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越 8:44 発、所沢 8:38 発に乘車。

解散：正午ころ、稲荷山公園。

担当：長谷部、高草木、藤掛、石光、中村(祐)、山口、星、久保田、山本(真)、水谷、間正、

鈴木

見どころ：毎年3月は少しコースを変えています。カタクリの小さな自生地を見て、見晴らしのよい高台へ登ります。春の花、冬の鳥、季節の移り変わりを楽しみましょう。その他：3月16日、西武線のダイヤ改正があります。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月30日(土)

集合：午前9時30分、県立さきたま史跡の博物館前レストハウス。

交通：JR 高崎線吹上駅北口から、朝日バス 8:47 発、行田折り返し場(佐間経由)行きで「産業道路」下車、徒歩約15分。またはJR行田駅東口から、行田市内循環バス・観光拠点コース左回り 9:05 発で「埼玉古墳公園前」下車、徒歩約2分。

担当：相原(修)、内藤、岡安、大坂、立岩、栗原、村上、茂木、竹山、相原(友)、長谷川

見どころ：今年は厳しかった冬だけに、春がくるのが待ち遠しかったですね。咲くにはまだ早い梢で、帰り支度の冬鳥と気の早い夏鳥とが共演かも。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：3月30日(土)

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷 7:21→春日部 7:36→栗橋 7:56→柳生 8:06。またはJR宇都宮線大宮 7:03→栗橋 7:38 で東武日光線乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン広場。

担当：佐野、玉井、中里、田邊、植平、山田、佐藤、茂木、進士、野口(修)、内田(孝)

見どころ：例年はヨシ焼きの季節ですが、ここ2年は中止となっています。今年はどうでしょう？ 谷中湖を渡るいつものコースでミコアイサなどのカモ類や猛禽を探します。



行事報告

9月30日(日) タカの渡り調査

ボランティア: 32名

浅見徹、新井巖、石光章、磯崎知子、井野、鶴飼喜雄、大川清久、加藤重夫、久保田純一、久保田貴子、倉崎哲郎、倉崎淑子、佐久間博文、佐藤春美、佐藤久志、佐柳、柴田和見、下村、鈴木秀治、関口善孝、竹中義人、田島利夫、千島康幸、橋本清一、半田裕之、藤掛保司、船木教樹、松井昭吾、松下光、茂木勲、吉原早苗、吉原俊雄

11月18日(日) 栃木県 奥日光(戦場ヶ原)

参加: 27名 天気: 雪

マガモ コガモ アカゲラ コゲラ カワガラス ミソサザイ ルリビタキ ツグミ エナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ ウソ(15種) 北風が強く吹いて粉雪が舞うほどの悪天候で寒い中、スタート。お目当ての小鳥達は、何処かに隠れてしまっていてなかなか姿を現してくれない。ルリビタキやアカゲラ等の人気のある鳥達が現れると参加者から歓声上がる。最後にウソの姿を見て終了。(入山 博)

11月18日(日) 嵐山町 菅谷館都幾川

参加: 38名 天気: 快晴

カイツブリ ダイサギ ノスリ チョウゲンボウ コジュケイ イカルチドリ キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(33種)(番外: ガビチョウ) 林を歩くと、アカゲラが飛び、シジュウカラ、メジロ、コゲラの混群が現れてくれた。オオムラサキの森を進むとツグミ、シメが枝先で木の実を食べていた。ホテルの里入口の木にアオゲラ2羽が飛んできて枝先に止まった。都幾川に出るとカシラダカが対岸の木にいた。ダイサギ、ノスリが飛んできてくれ、チョウゲ

ンボウがカラスにモビングされていた。イカルチドリ2羽が水際にいて良く見ることができた。二瀬橋を渡り対岸へ。田んぼの端にヒバリ、タヒバリがいた。土手は風が強い。ベニマシコが鳴いたが風の音で消されてしまった。(千島康幸)

11月18日(日) 浦和市 三室地区

参加: 50名 天気: 晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ バン オオバン キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ マヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(27種)(番外: ドバト) 強風の為か猛禽類は見られなかった。そんな中、不耕作地に30羽近いマヒワの群れ。芝川土手からゆっくり見た。今年の冬は小鳥類で盛り上がりそうだ。(須崎 聡)

11月23日(金、休) 本庄市 坂東大橋

参加: 11名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オナガガモ トビ ハイタカ ノスリ ハヤブサ チョウゲンボウ キジ イソシギ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(38種) 土手の上を進むことにすると早速ベニマシコが現れて幸先よくスタート。畑で首を伸ばす雄キジ、電線に止まるチョウゲンボウ、木立にはツグミ、モズ、ジョウビタキと順調に姿を見せてくれた。河原では対岸に止まるハヤブサを発見。カモはまだ種類も数も少なく、ヨシガモもかろうじて1羽。帰り道では突然目の前をハイタカが横切り、最後はノスリが出迎えてくれた。(新井 巖)

11月23日(金、休) さいたま市 見沼自然公園

参加: 17名 天気: 雨時々曇

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ キジ クイナ バン オオバン キジバト

カワセミ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 雨は直ぐに小降りになり、鳥の出も好調。ハイライトは、公園に戻る直前。木立の中にアカゲラを発見! このアカゲラ、何と林床に降りて地面を移動!! あきれて見ていると、そこへアカハラ。続けてシロハラまで登場。大いに盛り上がった。(浅見 徹)

11月24日(土) 志木市 柳瀬川

参加: 36名 天気: 曇後晴

カワウ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オオタカ ハイタカ ハヤブサ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) (番外: ドバト) 高橋の耐震工事及び水道管補強工事が行われ、ゴルフ練習場の対岸はマンション工事。更に富士見橋より上流は釣り人も多かった。野鳥の数は少なかったが冬鳥はほとんど来ていたので楽しめた。工事で2月の探鳥会にも影響が出そうだ。(持丸順彰)

11月25日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加: 53名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ コガモ クイナ タゲリ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) (番外: ドバト) 穏やかな小春日和の中スタートした。休耕田の枯れ草の中でカシラダカ、オオジュリンやアオジが飛び交っていた。途中の柿の木でツグミを見て田んぼに出るとタゲリが2羽居て盛り上がった。林に入る前の柿の木にツグミとともにアカハラが

長い間柿をついばむのをじっくり観察。環境学習館まで戻るとねぐら作りのためであろうかアカゲラが皆の前で木の幹に穴を掘っていて最後まで盛り上がり終了した。(玉井正晴)

11月25日(日) 狭山市 入間川

参加: 30名 天気: 快晴

カイツブリ ダイサギ コサギ アオサギ コガモ バン オオバン イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) (番外: ドバト、ソウシチョウ) ここ数年は冬場のカモを見どころにできない状況が続いている。今回はカルガモまで見られなかった。鳥のたくさんいるところを見せて回るだけが探鳥会ではないが、やはり鳥がいないことには皆元気が出ない。鳥頼みの引き出しの少ないリーダーではまずい。どんな状況でも、参加してよかったと思われるような探鳥会にしていきたい。(長谷部謙二)

12月1日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

参加: 54名 天気: 雨

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ミサゴ トビ ノスリ チュウヒ ハヤブサ キジ オオバン セグロカモメ キジバト アリスイ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ ベニマシコ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) (番外: ドバト) 出発して間もなくポツポツと。それでも遊水地を代表するチュウヒなどの猛禽類は雄姿を見せてくれた。ベニマシコも多く、そこここでフィーフィー。東谷中橋では『いつものハヤブサ』と『2重の虹』が出迎えてくれたが、その先の史跡ゾーンの上空には怪しい雲が。ここから中の島まで戻り、鳥合せ・解散としたが、その間に雨は本降りに。皆様には寒い思いをさせてしまい、もっと早く引き返していればと反省しきり……(佐野和宏)

連絡帳

●ご投稿ありがとうございます

先月号本欄で表紙写真のご投稿をお願いしたところ、何点かお送りいただきました。ありがとうございます。表紙ではないところでも活用させていただきたいと考えています。引き続きよろしく願います。

●日本野鳥の会東京の代表交代

1月1日付けで前代表中村一也さんから新代表川沢祥三さんに交代したと、メール連絡が届きました。

●訃報

さきたま古墳公園探鳥会などでリーダーとして活躍されていた関口善孝さん(行田市)が永眠されました。昭和 25 年生まれ 62 歳。

「明るい性格で、行田の主ということもあり、探鳥会参加者の間で人気がありました。大変残念なことです。心からご冥福をお祈りします」(同探鳥会のメインリーダー内藤義雄幹事)。



2011年9月4日研修会でリーダーに復帰、藤掛代表から腕章を受け取る関口さん(左)

●会員数は

2月1日現在 1,884 人。

活動と予定

●1月の活動

1月12日(土) 『しらこぼと』2月号校正作業(海老原美夫、小林みどり、長嶋宏之、藤掛保司、山田義郎)。

1月20日(日) 役員会(司会:長野誠治、各部の報告・シラコバト保護に関する意見交換・その他)。

1月21日(月) 「埼玉会報だけの会員」に向け『しらこぼと』2月号を郵便局から発送作業(倉林宗太郎)。

●2月の予定

3月2日(土) 編集部・普及部・研究部会。

3月9日(土) 4月号校正(午後4時から)。

3月16日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

3月17日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

まだまだ寒い日が続きますが、『しらこぼと』行事案内欄の「見どころ」には春がいっぱい! みなさん、それだけ心待ちにしているんですね。(浅見)

早めに出勤して、仕事前に職場内で30分ほど鳥を見ながら散歩するのが長年の日課となっている。今季は小鳥類が多くて楽しい。この職場とも3月一杯でお別れとなるが、いつまでも野鳥のオアシスであって欲しいものだ。(森本)

週3日のアルバイトを始めた。混んだ電車で通勤するのは久しぶり。週3回でもキツイ。昔は若かったのかなあ? 毎日通勤の皆様、本当にお疲れ様です。(み)

しらこぼと 2013年3月号(第347号) 定価 200円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉 郵便振替 00190-3-121130
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://35.tok2.com/wbsjsaitama/>
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル

(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社